



神戸空港 大型化学消防車・給水車の更新について

関西エアポートグループは、神戸空港において大型化学消防車・給水車の更新を行うことのお知らせします。本大型化学消防車・給水車は、神戸空港で2005年9月から約16年間使用されたもので、今回の更新により車両の消火機能向上、および救護機材等の搭載容量の大幅な増加が可能となります。

関西エアポートグループは、これからも安全・安心を最優先とした空港の運営・管理に努めてまいります。

【概要】

○空港用大型化学消防車の更新

2022年5月までに神戸空港の化学消防車3台全てを更新します。導入車両は世界80カ国以上で1,900台以上が運用中の高い実績を有しているメーカーを採用し、出勤から事故現場まで2分以内の到着を達成する緊急走行を、より安全に可能とする性能を備えています。また、HRET型の導入により、遠方からでも風向きに左右されることなく直接火点へ消火薬剤の放射が可能となることに加え、穿孔装置による機体内部への直接放水等、新たな消火戦術の展開および迅速な消火活動が可能となります。

■導入車両：モリタ社製 化学消防車ルーフトレット6,000ℓ

→ Rosenbauer 社製 ルーフトレット10,500ℓ

更新時期：2021年6月

■導入車両：モリタ社製 化学消防車ルーフトレット6,000ℓ・12500ℓ

→ Rosenbauer 社製 ルーフトレット10,500ℓ、HRET10,500ℓ

更新時期：2022年5月予定



ルーフトレット10,500ℓ



HRET10,500ℓ

※写真は関西国際空港の同型車両

○空港用給水車の更新

今回導入の角形水槽給水車は、国内空港用給水車としては初導入の車両となります。従来の楕円型水槽から角型水槽へ変更する事により、救助資機材の積載容量（スペースの確保）が大幅に拡大し、救助に必要な機材を多く積載準備できるため、給水車としてのみならず、効果的な救助活動が可能となります。

■導入車両：大槻ポンプ工業社製 空港用給水車8,000ℓ 給水車

→ 日本機械工業社製 空港用給水車PP TANKER 8,000ℓ

更新時期：2021年8月予定



PP TANKER 8,000ℓ

※写真は同型の10,000ℓ

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション

Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンサルティング、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界31カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において45空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JT B、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構